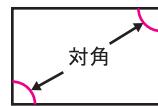


四角形(1)

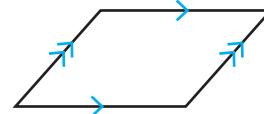
対辺と対角

四角形の向かい合う辺を対辺、向かい合う角を対角という。



平行四辺形

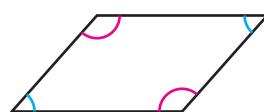
定義：2組の対辺がそれぞれ平行な四角形を平行四辺形という。



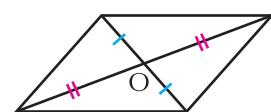
平行四辺形の性質



① 2組の対辺は
それぞれ等しい。



② 2組の対角は
それぞれ等しい。



③ 対角線はそれぞれの
中点で交わる。

平行四辺形になるための条件

定義：2組の対辺がそれぞれ平行である。

定理：① 2組の対辺がそれぞれ等しい。 ② 2組の対角がそれぞれ等しい。

③ 対角線がそれぞれの中点で交わる。 ④ 1組の対辺が平行で、その長さが等しい。

【1】次の①から④の条件のうち、四角形ABCDがつねに平行四辺形になるものをすべて答えなさい。ただし、④については、対角線ACとBDの交点をOとする。

① $AB = DC$, $AB \parallel DC$ ② $AB = AD$, $AB \parallel DC$

③ $AB = DC$, $AD = BC$ ④ $OA = OD$, $OB = OC$

答え _____

【2】平行四辺形ABCDで、2本の対角線がそれぞれの中点で交わることを証明する。

次の□をうめて、証明を完成させなさい。

ΔAOB と ΔCOD で、

平行四辺形の対辺は等しいので、 $AB =$ ⑦ … ①

平行線の錯角は等しいので、

$\angle BAO =$ ⑧ … ②

$\angle ABO =$ ⑨ … ③

①, ②, ③より、⑩ ので

$\Delta AOB \equiv \Delta COD$

合同な図形の対応する辺は等しいから、

$AO =$ ⑪, $BO =$ ⑫

よって、平行四辺形の2本の対角線はそれぞれの中点で交わる。

